



講義科目名称 : 工学フォーラム (船舶工学コース)  
 英文科目名称 : Engineering Forum

授業コード : 21103

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択
担当教員			
石川 暁、影本 浩、堀 勉、松岡 和彦、古野 弘志			
1年次	工学部	週2時間	
添付ファイル			
<a href="#">工学フォーラム (船舶工学コース) 2022.pdf</a>			

授業概要	<p>大学教育、大学生活への導入教育として船舶工学コース1年生を対象に開講する。4人前後の小グループゼミ形式、造船所・研究所施設見学及び各教員の講話による動機付け教育を行う。</p> <p>【学位授与の方針・教育課程編成実施の方針の対応する教育目標(配当年次)】                  船6、海6</p> <p>その他の年度については、2019年度以前入学生は2019年に掲示された内容、2020年度以降入学生は入学年の履修ガイドを参照すること。また、系統図も参照すること。</p>
授業計画	<p>第1回 船舶工学コースの説明と自己紹介【石川、影本、堀、松岡、古野】</p> <p>第2回 履修指導(時間割の作成)【石川、影本、堀、松岡、古野】</p> <p>第3回 履修指導(時間割の最終確認)、附属図書館の利用方法【石川】</p> <p>第4回 履修指導(受講申告確認と修正)、学内見学ツアー【石川】</p> <p>第5回 プロジェクトI・II・III・IV成果発表会への参加【石川、影本、堀、松岡、古野】</p> <p>第6回 研修旅行事前説明、プロジェクトI・II・III・IV成果発表会への参加【石川、影本、堀、松岡、古野】</p> <p>第7回 研修旅行(造船所)【石川、影本、堀、松岡、古野】</p> <p>第8回 研修旅行(研究所施設)【石川、影本、堀、松岡、古野】</p> <p>第9回 研修旅行を終えて(質疑応答、感想文の作成)【古野、石川】</p> <p>第10回 講話① 日本の海運業とそれを巻き巻くプレーヤー【古野】</p> <p>第11回 講話② 「海洋工学ってなんだ?」【影本】</p> <p>第12回 講話③ 「楽しい数学の世界」【堀】</p> <p>第13回 講話④ 「"i-shipping"」、船舶の設計建造分野におけるICT化推進のお話【松岡】</p> <p>第14回 講話⑤ 「大学生活の目標は?~ 将来の夢のために ~」【石川】</p> <p>第15回 工学フォーラムを終えて(感想文の作成)【石川】</p>

授業形態	<p>講義（オムニバス方式）</p> <p>【実務経験の活用】造船所実務経験のある教員による講話有り。</p> <p>【アクティブラーニング】アクティブラーニングの一環として、造船所・研究所施設見学並びに小グループゼミを行なう。</p> <p>【情報機器利用】特に無し。ただし、参考文献をPDFなどで配布する場合がある。詳細は授業にて説明する。</p> <p>【成果物等の提出についての学生へのフィードバック】課題などを返却する場合は、補足説明などをする場合がある。</p> <p>【教育方法】履修指導、造船所や研究機関への研修旅行、プロジェクト成果報告会への参加、船舶教員による講義などを行い、船舶工学分野で必要とされている課題の理解を深めるとともに、同分野を学びを深めていくための向学心を養う。</p> <p>【特別な事情により対面授業が実施できない場合の形態】連絡はGoogle Classroom、講義はZoomミーティングを使用した双方向遠隔授業を行う。</p>
達成目標	<p>1) 人間力の向上</p> <p>2) 勉学意欲の向上</p> <p>3) 大学の意義の理解</p>
評価方法	レポート、取り組み方を総合的に評価する。
評価基準	<p>上記の評価方法において以下のように成績を評価する。</p> <p>【2018年度以前入学生】      評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>【2019年度以降入学生】      評定は、S、A、B、C、Dの5種類をもってこれを表し、Sは90点から100点、Aは80点から89点、Bは70点から79点、Cは60点から69点、Dは59点以下とし、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。      詳細はルーブリックを参照すること</p>
教科書・参考書	必要に応じて配布する。
履修条件	【前提となる授業科目】特に無し。系統図を必ず参照すること。
履修上の注意	研修旅行への参加を伴う。
予習・復習	<p>予習：講義の前に関係するテーマの本などを調べ、予備知識を持って講義に臨むこと。</p> <p>復習：講義ノートを復習し、講義内容を整理して理解を深めること。</p>
オフィスアワー	<p>研究室に訪ねてください。時間が空いていれば対応します。</p> <p>掲示やAAシステムの情報も参照すること。</p>
備考・メッセージ	特に無し